

医療機器開発の推進について

平成14年9月9日(月)

北村 惣一郎
国立循環器病センター 総長

日本の医工学 — 医療機器産業

医療技術（遺伝子医療・再生医療・超早期診断治療・手術革新・人工臓器・人工感覚器）が大きく変わる時代を迎え、今が重要な時期。

○ 生体機能代替・補助機器、処置用機器など、米国でベンチャー的企業によって発達した分野の遅れ。

○ 企業側にもリスクに対する警戒心があり、医療機器の産業化に対する認識は政府、財界にも乏しかった。

○ 日本が参入するなら、国家的計画・支援が必要。

（NIH 予算の倍増（1998 年 5 年計画）、医療機器強化として NIBIB 創設(2001)、NSF、NASA 予算増加と事業拡大）。

医療福祉機器開発で特に考慮する事項

- 先進技術開発
- 臨床的重要性とニーズ
- 科学的な実験的・臨床的性能評価
- 企業およびベンチャーキャピタリストの経営管理
- 営業的観点
- 複数企業の共同参画

製造技術分野

重点領域における研究開発の推進方策の基本的事項

- 人材の養成、独創性を発揮しうる環境整備
- 知識基盤、技術・ノウハウの蓄積
- 知的財産権に関する戦略
- 産学官連携のあり方の検討
- 知的基盤の整備、標準化の推進
- ベンチャービジネス化等の実用化への推進